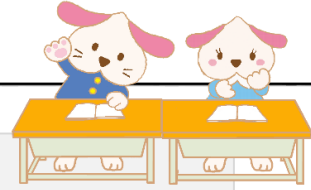


# 授業これだけは！ +PLUS

これまで「授業これだけは！」で徹底してきた「めあて」と「まとめ」に「ふりかえり」を加え、子どもたちが自ら学びに向かう授業づくりに取り組みます。

他者との関わりを通して、自分の考えを広げ深める学習を充実させることと学びの過程をふりかえる場面を設定することで、子どもたちの「やる気につながる好奇心」を引き出し、目指す資質・能力を育成します。

## ● 資質・能力を育成するための 子どもの学習活動と意識の流れ ●



めあて

### 何を学ぶのかをつかむ

なぜだろう。知りたい。調べてみたい。こう考えると解決できるかな。

これまでの学びをもとに、

### 自分の考えをもつ

私は〇〇だから△△だと考える。友達の考えはどうだろうか。

他者との関わりを通して、

### 自分の考えを広げ深める

へえ、なるほど、そうだったのか。  
そんな考え方もできるのか。もう一度考えてみよう。  
みんなの考えをつなげると〇〇ではないか。

まとめ

### この時間に学んだことをまとめる（めあてに対応）

〇〇は□□だとわかった。〇〇は△△すればできるとわかった。

Point !

ふりかえり

### どのように学んだかをふりかえり、 次の学びにつなげる

友達と一緒に考えると、自分では気付かなかったことに気付く  
ことができた。次は〇〇を調べてみたい。

やる気につながる  
**好**  
**奇**

**心**

次の学びへ

## 豊かな学びを支える学級集団づくり

「学級集団づくり  
これからは！」  
を参考に

だれもが安心して  
生活できる

だれもが活躍できる

だれもがつながる

子ども一人一人が安心して自分の考えを伝えたり、他者の意見を聞いたりしながら  
学び合うことができる学級集団づくりに、授業を通して取り組みましょう。





めあて 何を学ぶのかをつかむ

◆ **問いを明確にし、意欲を引き出す。**

- 導入の工夫で、「なぜ」「どうしてだろう」という問いを引き出し、問いを明確につかめるようにすることで「知りたい」「学びたい」という意欲を高めます。
- これまでの学習をもとに、新たな問いが生まれるようにします。

◆ **見通しをもてるようにする。**

- これまでの学習や経験をふりかえられるようにしたり、資料提示を工夫したりすることで子ども自身が課題解決に向けた見通しをもつことができるようにします。
- どのように学習していくかを計画したり、自分の目標を立てたりすることも考えられます。

書く

考え、表現する力の育成に向け、「書く」活動をしつかり位置付けましょう。  
自分の考えを整理するとともに、他者へ伝えることを意識した書き方ができるよう指導していきます。

自分の考えをもつことで、授業に主体的に参加することができます。



これまでの学びをもとに、

**自分の考えをもつ**

◆ **全員が自分の考えをもつことができるよう、考えるための手がかりを示す。**

- 「自分の考え」と「そう考えた理由」を書いて整理します。
- ノート、教科書、Chromebook(マイドライブ)などを見直すことで、これまでの学習や経験をもとに自分の考えをもてるようにします。

他者との関わりを通して、

**自分の考えを広げ深める**

◆ **多様な考えを取り入れながら、課題解決に向けて考えられるよう、学習活動や学習形態を工夫する。**

- 自分の考えを理由と合わせて表現するとともに、他者の考えを受け止めたり、考えの根拠を尋ねたりすることで、共通点や相違点を見付けたり、新しい視点に気付いたりすることができるように、話し合いを促します。  
例：「私は○○だと思います。理由は△△だからです。」  
例：「なぜ△△と思うのですか。もう少し詳しく教えてください。」  
例：「今はまだわかりません。・・・の部分がよくわからないからです。」
- 多様な意見が出る場面でペアやグループ学習を取り入れ、様々な視点から考えることができるようにします。

◆ **多様な考えを整理分類し、価値付けながら、課題解決に向けて考えるべきことを焦点化する。**

- 子どもの考えや疑問をつなぎながら整理することで、課題解決に向けて考えられるようにします。

◆ **考えを深められるように、発問を工夫する。**

- 子ども自身が各教科の見方・考え方を働かせられるようにします。
- 子ども自身が新たな気付きを見付けられるようにします。
- 子ども自身が様々な情報を関連付けたり、比較したりしながら、試行錯誤するよう促します。

読む

学習活動の工夫として、「読んで考え表現する」活動を、積極的に取り入れましょう。  
様々な文章や複数のデータ(グラフや図など)の資料を読み取り、考えを表現するような活動が考えられます。



まとめ この時間に学んだことをまとめる (めあてに対応)

◆ **何を学び、何がわかったかなど、学習内容を全員が明確につかめるようにする。**

- まとめの手がかりにできるよう、学習過程が分かるような板書の工夫が大切です。
- 1単位時間の学びについて、子どもから引き出した言葉を使ってまとめます。
- 評価規準の「おおむね満足できる」状況(B)の具体的な姿を想定することが必要です。

「まとめ」は原則毎時間、「ふりかえり」は単元の中で計画的に位置付けます。  
単元に1回は共通の視点で「ふりかえり」を記述する機会を設けましょう。

Point!

**ふりかえり**

**どのように学んだかをふりかえり、次の学びにつなげる**

◆ **明確な視点をもって、学習過程をふりかえることができるようにする。**

共通の視点

- ◎ 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりできたこと
- ◎ 学習した内容について、もっと知りたいと感じることや新たに疑問に感じる事

他の視点例

- 学び方や自己の変容について気付いたこと
- 他教科、既習の単元、生活、将来などとのつながりに気付いたこと

「授業これからは！」も参考に

